



イラスト・すぎむらあき

つ　う　が　く　ろ
通学路

きけんをチエツク！

新^{しん}がたコロナウィルス^{ウィルス}の感^{かん}せんの広^{ひろ}が
り^りで休^{きゅう}校^{こう}が^がつづいていたため、今^{こん}月^{げつ}から
学^{がく}校^{こう}に通^{かよ}うになっ^なった人^{ひと}がた^たくさんい
ま^ます。雨^{あめ}の多^{おほ}い季^き節^{せつ}でもあり、交^{こう}通^{つう}じこ

が心配されます。通学路などで気をつけ
たほうがよいことを、全日本交通安全協
会（東京都千代田区）に聞きました。

(前田奈津子)

道路のわたり方
車の通りに注意

1年生の中には、通学する道になれていない人がいるかもしれません。ほかの学年の人、学校の行き帰りの道を大人といっしょに歩いてみましょう。道路のわたり方や、車がたくさん通る道など、じこにつながりやすい場所をたしかめてください。てんけんすることです「気がつけよう」という心がけにつながります。

毎日の行き帰りは、注意しながら歩きましょう。おうだん歩道をわたるときは、しんごうが青にかわってもすぐに進んではいけません。左右の安全と、車が止まっていることをたしかめてからわたしましょう。

子どもは車の運転手から見えにくいことがあります。気づいてもらってから、おうだんするようにしませう。手をあげるなどして、「わたりますよ」との意思が伝わるようにしてください。

さ ゆ う み き
左右見てからわたる／気づいてもらう

あやしい人にも^{ひと}きをつけて

子どもをねらう悪い人が、まちをう
ろろしているかもしれません。注意
することを朝小のウェブサイトのにのせ
ています。

<https://www.asagaku.com/2020/covid19/lineup/anzen.html>



雨あめの日は見みえにくい

6月あめは雨あめが多い時期じきです。雨あめの日ひは、かさかさをさすのでまわりが見えにくく、雨あめの音おとでまわりの音おとが聞きこえにくくなります。車くるまの運転手うんしんしゅは外そとが見づらく、道みちがすべりやすくなります。

かさや服をえらんで、まわりから気づいても知らないやうにうづに
してんだぜ。

子どもがまきこまれる交通じ
こで、多いのはとび出します。
たとえば、友だちが道の向こう
でよんでいてもすぐに行こうと
してはいけません。まず、止ま
って左右を見てからわたりまし
よう。車が近づいているかもし
れません。車は急に止まらない
ことをわすれないでください。
学校の行き帰りは、決められ
た道を通り、より道をしないで
ください。これからも交通ルー
ルを守って、安全に氣をつけて
歩きましょう。

(主に3年生までに習う漢字をつかいました)

ちよっと前、テレビでこんなニュースが流れました。北海道富良野市で「JA（農協）」と市が協力し、1万あまりの世帯すべてにタマネギ1キロずつを配りました▼コロナウィルスのせいで苦労している市民を「元気にしたい」と考えたそうです。受けとった人たちは「カレーにします」「サンドイッチをつくりたい」「シチューや野菜いたそうめど食べられる」と喜んでそうです▼ほかにサラダ、牛丼、肉じゃがが……、たくさん思いつかびますね。タマネギは、料理を深い味わいにしてくれる働きものです。食べるつかがとれる、かぜをなおす、血液をサラサラにする、といった効き目があるからいわれています▼学校が始まって各地の農家も喜んでます。大切に育てた野菜をみんなの給食に役立てられます。6月はナスやトマトも盛りになります。それぞれ体の役に立つ成分があります。給食で野菜の元気をもらいましょ。

◇6月4日付紙面から

2020.6.4

